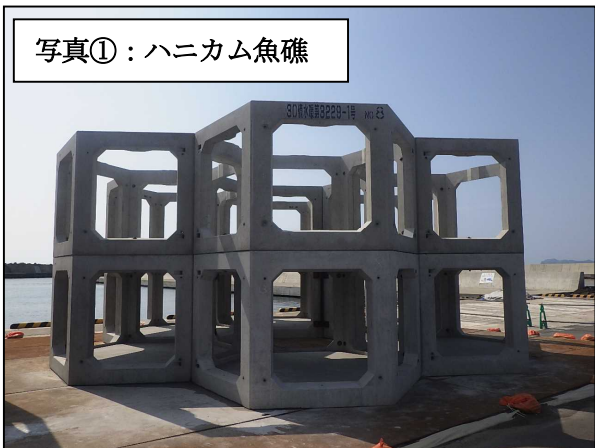


写真①：ハニカム魚礁



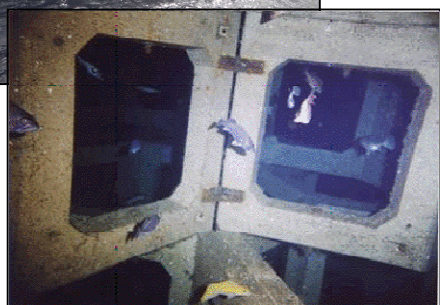
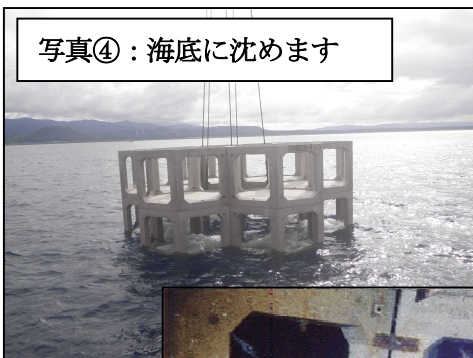
写真②：組み立てる様子



写真③：クレーンのついた大型の船に載せます



写真④：海底に沈めます



← 設置後、魚が集まる様子(イメージ)

増殖場（ぞうしょくじょう）って？

イカ君： 増殖場ってなに？

おべ様： まず、「増殖」とは、ある生物が生まれてから死ぬまでの一部に人間が手を貸すことで、自然の状態では増えない資源を増やそうとすることを言うよ。今回は、人間が魚の成長の手助けをするために造成した場所を「増殖場」と言っているよ。増殖場の造成には、「ハニカム魚礁」というブロックを使っているよ。

ハニカム魚礁（ぎょしょう）とは？

イカ君： ハニカム魚礁って？

おべ様： 左上の写真①に写っているのがハニカム魚礁だよ。写真からもわかるように、コンクリートで作られているよ。「ハニカム」というのは、正六角形または正六角柱を隙間なく並べた構造のことで、英語で「ハチの巣」という意味だよ。これを海底に設置することで、魚の棲み家、隠れ家、エサ場になるよ。

イカ君： へ～。どうやって作るの？

おべ様： 写真②のように、コンクリートでできた部品を工場から運んできて、ボルトでつなぎ合わせて組み立てているよ。部品を組み立てた後は、底に“おもり”としてコンクリートを流し込んで、重量を増やしているよ。これは、海底に設置した後、強い波の力でハニカム魚礁が倒れたり、動いたりしないようにするためなんだ。完成後のハニカム魚礁の重さは、1基あたり約85tにもなるよ。

イカ君： とても重いんだね。そんなに重いものを沖まで運べるの？

おべ様： 写真③のように、クレーンがついた大きな船に載せて設置箇所まで運ぶよ。写真④が実際にハニカム魚礁を海に沈めている様子で、水深約20mの位置に設置しているよ。

イカ君： すごいね！いろんな魚がハニカム魚礁に棲みついて成長して、魚の数が増えるといいなあ。

おべ様： そうだね。青森県では、このハニカム魚礁の他にも色々な種類の増殖場を造成しているよ。このような取り組みをすることで、漁師さんの漁獲量が増えて、青森のおいしい魚がたくさんの人に食べてもらえるようになるといいな！